



平成 19 年 7 月 19 日

各 位

会 社 名 株式会社 北川 鉄 工 所
代 表 者 名 取締役社長 北川 祐 治
(コード番号 6 3 1 7 東証 第 1 部)
問 合 せ 先 取締役経営管理担当
高 橋 正 義
T E L 0847-45-4560

新中期事業計画・KITAGAWA MID100Plan に関するお知らせ

当社は 2004 年に発表した 3 ヶ年の中期事業計画・MID2006 (2004 年度～2006 年度＝第 95 期～第 97 期) を終了し、2007 年 4 月を起点とする新たな 3 ヶ年の中期事業計画・KITAGAWA MID100Plan (キタガワ・ミッド・ハドレッド・プラン) (2007 年度～2009 年度＝第 98 期～第 100 期) を策定しましたので、その概要について下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 前中期事業計画の総括

前中期事業計画では「収益力を改善し、KITAGAWA DecadePlan2011 の実現を目指して事業基盤の強化を図る」ことを基本方針とし、最終年度に連結売上高目標を 400 億円、営業利益率 5% を数値目標として活動してまいりました。数値目標は 1 年前倒しで達成し、収益力の改善を目指した事業基盤の強化も概ね達成することが出来ました。

この 3 ヶ年は 4 つの事業がともに事業転換を図り、受注の増加と市場に応じた設備投資による生産体制の拡充に資源を投入し、生産性の改善を進め事業拡大と収益確保の基盤整備を進めてまいりました。海外経済の活況と好調な自動車産業を中心とした民間設備投資を背景に全体として事業は順調に推移してまいりました。

2. 新中期事業計画・KITAGAWA MID100Plan (2007 年度～2009 年度＝第 98 期～第 100 期)

2012 年 3 月期を最終とする長期事業構想・KITAGAWA DecadePlan2011 の達成に向けて、後半の 3 ヶ年の中期事業計画を策定しました。

この中期事業計画は最終の事業年度が第 100 期となりますので、「KITAGAWA MID100Plan」と名付けました。

前中期事業計画は、「成長のための基盤強化」が計画の主旨でしたが、新中期事業計画は、「成長に向けた具体的な事業活動」を計画の柱としております。

(1) KITAGAWA MID100Plan 共通のテーマ

- ①キタガワブランドの構築
- ②人材育成
- ③グループ経営の強化

この 3 つを重要課題としてとらえ、グループ全体の共通テーマとします。

①キタガワブランドの構築

お客様の常識を越える圧倒的品質、能動的かつアグレッシブな品質、お客様が驚き感動される品質、お客様に感謝される品質、これらの絶対的な品質特性を持った商品を確立します。

②人材育成

社員満足と人材育成は一体であるとの考え方により、仕事を通して自己が成長する実感を体験できる“場”や“機会”を提供することを基本スタンスとして、人材育成の諸施策を推進します。活動方針は、マネジメント（経営力）の強化としています。

③グループ経営の強化

グループ企業の事業拡大に伴い、更なるグループ経営の体制を強化します。グループの事業統制、人材育成、企業統治を強化し経営機能を向上させます。

(2) 事業戦略の骨子

「KITAGAWA MID100Plan」は、「KITAGAWA DecadePlan2011」の事業目標の達成に向けて、後半の3カ年の事業計画であり、「事業拡大への具体的な施策の展開」を推進するものがあります。

4つの事業の各々の事業計画のなかで経営戦略として、金属素形材事業と工機事業に重点をおいた資源投入を図り事業拡大の柱とします。

金属素形材事業は、成長と拡大が見込まれる顧客からの受注量増加に備え、生産能力増強の設備投資を積極的に推進するとともに、高い品質の実現と生産性の向上による競争力の強化を図ります。量的拡大が著しい自動車部品顧客に対する新規開拓営業を強化し、当社の強みである加工完成品での供給比率を高めます。また付加価値を高め、顧客業種の構成バランスを図り、収益の安定性を確保します。

工機事業は、国内外の堅調な設備投資から標準製品への設備投資を推進し供給能力の増強を図り、安定的な供給体制と個別のエンドユーザー要求を実現する特殊製品の充実と拡大を行い、お客様の需要と要求に迅速且つ的確に応えていきます。海外需要の増大に対しては、特に海外拠点での営業・サービスの充実を積極的に推進します。

産業機械事業は、コンクリートプラント市場規模が低位安定化している中、旧日本建機(株)との連合体の新組織「K&Kプラント(株)」でのシナジー効果を発揮し新たなブランド構築を目指します。特に改造、部品・修理等のサービスを基軸として、お客様の評価を頂いてシェアの拡大を目標とします。環境プラント事業は混合造粒技術を基軸として、お客様個別の廃棄物処理ニーズに対応すべく経営資源を優先的に投入すると同時に新商品開発にも傾注してまいります。建設機械市場にはビル建設用タワークレーン「ビルマン」シリーズの製品供給・サービスに特化してまいります。

駐車場事業は、自走式プレハブ立体駐車場市場において拡大と高層大型化しています。そのような市場環境下で高層型・施設併用型の製品群の充実・更なる品質向上とコスト競争力を図り、業界No.1を目指します。

都市部・郊外を中心とする慢性的な駐車場不足は駐車場市場の底堅さを支え、今後更に駐車場の整備と普及が拡大して行くものと見込んでおります。

(3) 連結業績目標

中期事業計画・KITAGAWA MID100Plan の連結業績目標を次に示します。

但し、下表の数値はターゲット計画を示しており、2007年5月14日に発表した連結業績予想を修正するものではありません。

単位；百万円

事業		第98期	第99期	第100期
		2008年3月期 計画	2009年3月期 計画	2010年3月期 計画
金属素形材事業	売上高	19,500	21,200	22,000
工機事業	売上高	13,500	14,400	15,500
産業機械事業	売上高	11,500	11,900	12,500
駐車場事業	売上高	9,500	9,500	10,000
計	売上高	54,000	57,000	60,000
	経常利益	2,600	3,000	3,600

(4) 留意事項

この資料の業績目標及び事業計画については、現時点で入手可能な情報に基づき、当社で判断したものであります。目標及び計画には、さまざまな不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの数値と異なる場合がありますので、当該情報に全面的に依拠して投資等の判断を行うことは差し控えて頂きますようお願いいたします。

以上

中期事業計画・KITAGAWA MID100Plan は弊社ホームページにも掲載しております。

URL. <http://www.kiw.co.jp/>